大会プログラム

SUZUKA 8h ENDURO 2021

第22回スズカ8時間エンデューロ

2021 開催日

11/13(土)

定員制・三重県 鈴鹿サーキット

新型コロナウィルス感染防止対策のための変更点について

❶定員設定を前回大会より大幅に削減します。
❷競技時間を短くします。
❸モータースポーツゲートの入場時間を5時にします。
❹全員検温を実施します。体温が37.5度以上の方はご入場いただけません。
❺大抽選会は実施いたしません。表彰式は対象者のみでの実施を予定しております。
❻サイクルバザールはスペースを確保しながら実施いたします。
❼新型コロナウイルスに起因する大会中止の場合は手数料を差引いて返金します。

主 催 スズカ8時間エンデューロ実行委員会

企画・運営 株式会社マトリックス

協 力 三重県自転車競技連盟
株式会社モビリティランド
ナスコ株式会社
南船場スポーツグラスサロン 眼’ z
Sports MC DJ PA Team 'REAL'
株式会社キャパクリエイション

明るく希望に満ちた年に向け スズカで思いっきり走ろう！

多くのエンデューロファンに愛されるスズカ8時間エンデューロは新型コロナウイルス感染症拡大のため昨年はやむを得ず開催を中止いたしましたが、今年は感染症も一定程度落ち着きを見せている中、本大会は可能な限り、皆様に安心して楽しんでいただけるよう、感染予防対策を徹底して実施いたします。
多くのエンデューロファンに愛される本大会は2019年に20回の節目を迎えることができ、今年から40回、50回と次の節目に向かう新たなスタートを切りました。
2021年第22回大会は定員を大幅に削減して実施。競技種目はエンデューロのみで6時間、4時間、3時間の3種目でお届けします。全カテゴリーにロード部門と車種を問わない男女混合部門、そして3時間にはWOMAN部門とファミリー部門を設けました。また、今大会はできるだけ密状態を回避するためソロ部門の定員を全体の約1/3に増員しています。
スズカ8時間エンデューロの一番の魅力はF1日本グランプリが開催されるスズカサーキット国際レーシングコースで楽しく思いっきり走れること。チーム種目で仲間と協力して走り切る、ソロ種目で自分の限界に挑む、家族でレースに挑戦して絆を深めるなど、いろいろな楽しみ方があります。今日この1日が充実できるよう魅力あふれるイベントにしていきます！
レースだけでなく会場では毎年恒例のサイクルバザール、ロードレース講習会などサブイベントも開催を予定しています。各ブース、多様な品揃えとサイクルライフを充実させる提案力で皆さまをお待ちしております！
この困難を乗り越えて明るい希望に満ちた2022年になるよう、スズカ8時間エンデューロを存分に楽しんでください！

SUZUKA 8h ENDURO 2021

第22回スズカ8時間エンデューロ

2021 定員制

開催日 **11/13(土)**

会場：三重県鈴鹿サーキット

大会プログラム

主　催	スズカ8時間エンデューロ実行委員会
企画・運営	株式会社マトリックス
協　力	三重県自転車競技連盟
	株式会社モビリティランド
	ナスコ株式会社
	南船場スポーツグラスサロン 眼’z
	Sports MC DJ PA Team 'REAL'
	株式会社キャパクリエイション

鈴鹿8時間エンデューロ大会事務局

〒592-0012　大阪府高石市西取石7-7-33

TEL (072) 340-1693（平日 10:00 ～ 17:00）
FAX (072) 340-1698
mail suzuka8h@powertag.jp
web https://suzuka8h.powertag.jp/

contents

協賛各社・大会役員・実行委員	3
実施競技	3
大会スケジュール	4
感染症予防対策について	5
入場からスタートまでの流れ	6
会場案内	7
スタート・ゴール レイアウト図	8
選手の皆様へご案内	9
ピットエリアについて	10
サイクリストの心得＆マナー	11
コース紹介	12
競技者の装備と車両規定について	13
競技規則・競技方法	14
表彰について	15
メカニックサポート	16
レース経過速報	16
パワータグとゼッケンの取り扱い	17
イベントのご案内	19
MC紹介	20
ホストチーム紹介	21

第22回スズカ8時間エンデューロ　協賛各社

アールケー・ジャパン株式会社
OUTRE
イナーメ・スポーツアロマ
ヴィプロス
ウベックス
apt'&NAROO MASK
OGK　KABUTO
CARBONDRY JAPAN
カルノパワー
CUBE
GOKISO
CCN　JAPAN
スポーツキッド
Champion System
Ne'X
株式会社パールイズミ
服部産業株式会社
株式会社 隼 (アスリチューン)
ピクノレーサー
FEELCAP
フォーチュン
FOOTMAX
MAVIC (マヴィック)
ミズタニ自転車株式会社
ミトロング-V
株式会社Re・蘇
WAKO'S
wahoo

(50音順・敬称略)

大会役員・実行委員

大会名誉会長	辻 義光
大会会長	安原 昌弘
大会副会長	吉村 慎一
大会実行委員長	大鳥居 雅
競技本部	待田 浩一
決勝審判	三重県自転車競技連盟
コースマーシャル	吉田 大輔
実況アナウンサー	MCシンジ / 絹代
計測・記録	島村 千樹
選手受付	上羽 拓郎
式典	中川 康二郎
広報	仙頭 康廣
救護	小倉 秀一
撮影	高田 健司

実施競技〈3時間・4時間・6時間エンデューロ〉

種目名	カテゴリー	表彰カテゴリー		使用自転車・参加資格	ゼッケン色
		ソロ	チーム		
6時間エンデューロ	ロード	○	○	車種制限なし・小学生以上の男女	白
	男女混合 ※1	-	○		
4時間エンデューロ	ロード	○	○	車種制限なし・小学生以上の男女	青
	男女混合 ※1	-	○		
3時間エンデューロ	ロード	○	○	車種制限なし・小学生以上の男女	赤
	WOMEN	○	-		
	男女混合 ※1	-	○		
	ファミリー ※2	-	○		

※1 男女混合：女性1名以上を含む
※2 ファミリー：成人女性と中学生以下の各1名を含む

※参加資格はすべて大会当日の学年を適用します。
※競技に使用する自転車はすべて車両規定に準ずるものとします。

大会スケジュール

●ご入場前に検温チェックを行います。時間がかかることが予想されますので会場へはお早めにお越しください。詳細はP5の「感染症予防対策について」をご確認ください。

●エンデューロのライダーズミーティングには各チームの第1走者が参加してください。大切な確認事項のお知らせがありますので、チームピットに待機している選手も必ずお聞きください。

●タイムスケジュールは都合により変更する場合があります。

大抽選会、閉会式は実施いたしません。

5:00～　モータースポーツゲート開門

5:00～　全員検温（グランプリスクエア）

5:00～　受付開始（ピットNo.45-46）

※受付はスタート30分前までに済ませてください。

会場へ入場される際、モータースポーツゲートで検温を実施します。体温が37.5度以上の方はご入場いただけません。

第7駐車場

入場：AM0:00～

※第7駐車場からのシャトルバス運行はありません。

モータースポーツゲート

入場・検温：AM5:00～

8:35～　ロードレース講習会

ピットNo.48のピットロード側（開始5分前までに集合）

8:35～9:25　試走

本コースを初めて走る方や初心者は必ず試走してください。
参加者以外は走行できません。

9:40～　エンデューロ 選手コースイン

ソロ選手およびチームの第1走者は集合エリアに招集後、スタートエリアに移動。6時間エンデューロはピットロード出口、4時間・3時間エンデューロはピットロード入口が集合エリアになります。

※マスクの着用をお願いします

9:50～　エンデューロ ライダーズミーティング

コース上スタートラインに整列した状態で行います。各チームの第1走者とソロ選手が参加してください。
大切な確認事項のお知らせがありますので、チームピットに待機している選手も必ずお聞きください。

10:00～　6時間エンデューロ スタート（終了時間 16:00）

10:02～　4時間エンデューロ スタート（終了時間 14:02）

10:04～　3時間エンデューロ スタート（終了時間 13:04）

ピットロード閉鎖（各競技終了5分前～25分間）

※ピットロード閉鎖の時間帯は選手交代できません。

13:30　3時間エンデューロ　表彰式

14:30　4時間エンデューロ　表彰式

16:30　6時間エンデューロ　表彰式

表彰式は対象者のみでの実施を予定しております。

お帰りの際は会場内の荷物は全て撤去してください。

感染症予防対策について

新型コロナウイルスの感染防止対策を徹底するために、参加者への皆様にもご協力いただく点をまとめています。今大会では参加される方全員に「健康確認書」をご記入・ご提出いただいております。
また、大抽選会、閉会式は実施いたしませんのでご注意ください。

基本対策

会場内では競技中以外はマスクを着用し、人と人との身体的距離を保ってください。また手洗い、うがいに加え、会場内の要所に消毒液を設置いたしますので、こまめに手指の消毒をしてください。

新型コロナウイルス接触確認アプリ「COCOA」のインストールをお願いします。
https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/cocoa_00138.html
〈COCOA〉

『安心みえるLINE』も実施いたします。
主要ヵ所にQRコードを掲示いたします。
是非ご利用ください。
https://www.pref.mie.lg.jp/YAKUMUS/HP/m0068000076_00004.htm
〈安心みえるLINE〉

入場をお断りする場合

大会前2週間以内に、発熱・せき・倦怠感など体調面で異常がある場合や新型コロナウイルス感染症陽性とされた人との濃厚接触がある場合、または同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる場合や政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航又は当該在住者との濃厚接触がある場合には入場をお断りいたします。

新型コロナウイルス感染対策として下記のご協力をお願いいたします

❶ 検温を実施いたします

第7駐車場をご利用の方　入場：AM0:00 ～

AM0:00より入場可能です。
第7駐車場からのシャトルバスは運行いたしません。第7駐車場から会場への移動についてはP6をご確認ください。

モータースポーツゲート　入場・検温：AM5:00 ～

ピットエリア入場ゲートは設置しません。会場へ入場される際、上記にて検温を実施します。体温が37.5度以上の方はご入場いただけません。
検温が済みましたら特設ピットを含め、各ピット内へ入場可能です。

❷「健康確認書」の提出

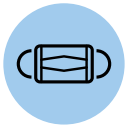
ご記入の上、選手受付（ピットNo.45-46）に提出してください。

受付にてゼッケン・計測タグと引換となります。
チームやグループで来場の場合は、代表者のみ全員の「健康確認書」を持って受付にお越しください。

❸ マスクの着用

レースご参加、応援の方もマスクのご用意をお願いいたします。

会場内はマスク着用が基本となります。試走・競技中以外はマスクを着用してください。ご協力に従えない場合は、退場をお願いいたします。
※但し、周囲の人と距離を保てる場合はこの限りでない。



❹ 手洗い・消毒のお願い

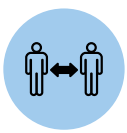
会場内の要所にアルコール消毒液を設置します。

手洗い、うがいに加え、こまめに手指の消毒をしてください。

❺ ソーシャルディスタンス

待機中にもできるだけ身体的距離の確保をお願いします。

会場内では密集を避けて、人との距離をできれば2m以上確保するようご協力ください。ピットレーンなどで人との距離を保てない場合は、大きな声での応援を控えてください。



❻ 大抽選会は実施いたしません

表彰式は対象者のみでの実施を予定しております。

今大会は大抽選会・ロトラップでドン・パフォーマンス賞は実施いたしません。また大会プログラム冊子の会場配布もいたしません。

❼ 入賞者・成績発表など

リザルト、緊急のお知らせなどはウェブサイト〈LAP CLIP〉でご確認ください。

会場内でリザルト等の貼り出しはいたしません。リザルトや途中経過速報は〈LAP CLIP〉でご確認ください。
最終結果成績表や入賞者の発表は大会公式ウェブサイトに掲載発表いたします。

※原則として雨天決行ですが、台風や地震などの天災、または天変地異により中止・変更する場合があります。地震・風水害・降雪・事件・事故により大会開催が不可能になり、中止となった場合は参加料の返却はございません。予めご了承下さい。開催中止など緊急のお知らせは〈LAP CLIP〉で確認できます。

〈 LAP CLIP 〉
https://matrix-sports.jp/lap/

〈 大会ウェブサイト 〉
https://suzuka8h.powertag.jp/

❽ その他留意事項

- 競技中に唾や痰を吐くことは極力行わないこと。
- タオル、ボトルなどの共用は行わないこと。
- ドリンクなど回し飲みは行わないこと。
- 食べ残し、飲み残しなどを放置しないこと。
- 飲食時は周囲との距離を取りなるべく会話をお控えください。
- 体調に異変がある場合は、大会スタッフに速やかに申し出てください。
- レース終了後はスムーズな退出を心掛け、準備ができ次第順次ご帰宅をお願いします。ミーティングや懇親会などにおいても三つの密を避けましょう。
- 終了後2週間以内に新型コロナウイルス感染症を発症した場合は速やかに主催者に報告をお願いします。・体調に異変がある場合は、大会スタッフに速やかに申し出てください。

入場からスタートまでの流れ

1 鈴鹿サーキットへの入場（パドックパス）
5:00 ～
モータースポーツゲートにて同伴者を含む全員の検温を行います。車の方は乗車したまま行います。検温後にお渡しするリストバンドの装着をお願いします。

2 主な入場場所から入場
5:00 ～
下記マップ ➘ の部分が主な入場場所です。ゲートはありませんので、そのまま入場してください。

3 受付
（ゼッケン・チップ受取・健康確認書を提出）
5:00 ～
5:00より受付開始します。代表者1名が参加確認証、健康確認書を持って、ピットNo.45-46の受付までお越しください。健康確認書と引換えに、ゼッケン、計測チップをお渡しいたします。

4 試走・ロードレース講習会（参加者のみ）
8:35 ～
この時間を利用しコースを確認してください。ピットNo.48ピットロード側にてチームマトリックスによる安全講習会を行います。走れる準備をしてお越しください。

5 招集・コースイン
（チームの場合は第1ライダーのみ）
9:40 ～ ※マスクの着用をお願いします
ピットレーンにて3か所で招集を開始します。6時間はピット出口側、4時間、3時間はピット入口側にお集まりください。後方よりゆっくりスタートされる方は、コースインのタイミングでコースにお集まりください。

6 エンデューロ スタート
10:00 ～
6時間を先頭にカテゴリーごとに順次スタートとなります。メンバー交代、休憩の場合はピットエリアを利用してください。

会場案内

※感染対策として、競技者サポートの為の同伴者はお1人に付1名入場可とさせていただきます。
遊園地との行き来はご遠慮いただきますようご協力よろしくお願いいたします。

は自転車持ち込み禁止です

ペットを連れてのご入場はできません

ゴミ箱設置場所
ゴミの分別にご協力ください

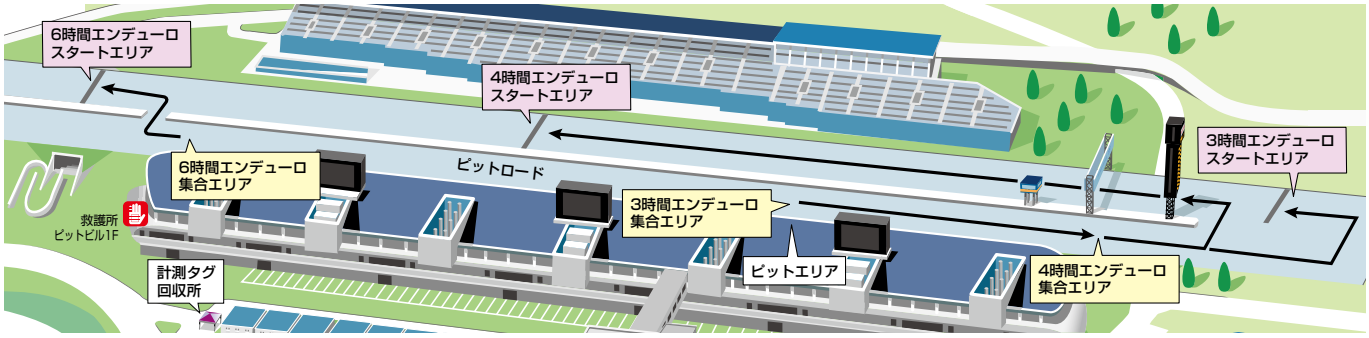
ピットビル2F・3Fへの自転車持込禁止

ピットビル2F・3Fへの自転車持ち込みは禁止されています。自転車は1Fのピットロード周辺かパドック側に、バイクラックやスタンドに止めて施錠するなど、各自で管理してください。

会場内火気厳禁 **喫煙は所定の場所で**

スタート・ゴール レイアウト図

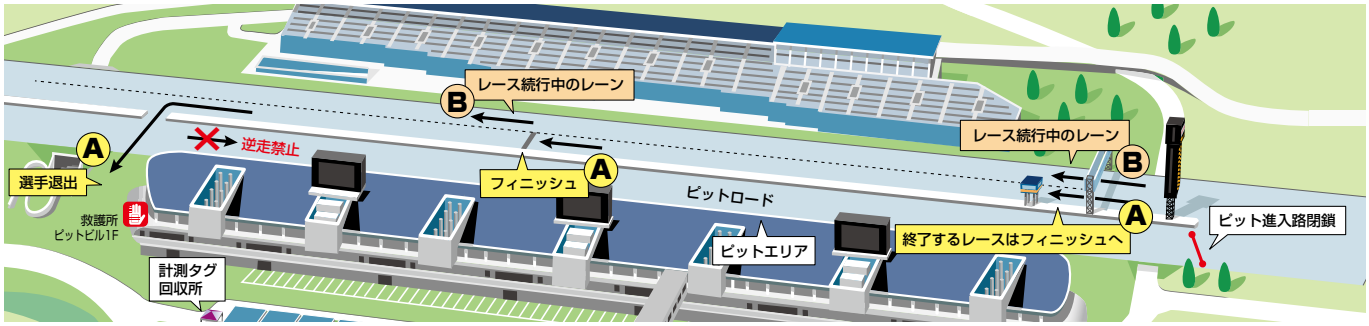
集合・スタートエリア〈6時間・4時間・3時間エンデューロ〉



●ライダーズミーティング　　9:50 ～
※コース上スタートラインに整列した状態で行います。各チームの第1走者とソロ選手が参加してください。
大切な確認事項のお知らせがありますので、チームピットに待機している選手も必ずお聞きください。

●6時間エンデューロ スタート　10:00 ～
●4時間エンデューロ スタート　10:02 ～
●3時間エンデューロ スタート　10:04 ～

フィニッシュ〈6時間・4時間・3時間エンデューロ〉



●3時間エンデューロ ゴール　13:04
●4時間エンデューロ ゴール　14:02
●6時間エンデューロ ゴール　16:00

競技が終了した選手は上図の「(A) 終了するレースはフィニッシュへ」ラインを走行し、フィニッシュ後は退出してください。
レース続行中の選手はコース右側の「(B) レース続行中のレーン」を走行してください。

●ピットロード閉鎖
終了するレースの選手がゴールしている時間帯（各競技終了5分前～ 25分間）はピットロードを閉鎖します。この間レース続行中の選手はピットロードに進入できません。

※競技が終了した選手はピットの荷物などを片付けて、競技中の選手に場所を譲るようにしてください。

※自動計測器「パワータグ」の返却
チームオフィス横に「パワータグ回収所」を設けています。レース終了後には必ず返却してください。

※パフォーマンスパレードについて
大会の変更点 今大会パフォーマンスパレードは行いません。ご了承ください。

選手の皆様へご案内

試走（参加者以外は不可）

初心者や鈴鹿サーキットコースを初めて走られる方は、必ず試走してください。路面状況やコーナーの曲がり具合を事前に知っておけば安心して走れます。

コース使用の注意

コースは試走時間およびレース以外での自転車の乗り入れはできませんのでご注意ください。

ヘルメットの着用

試走およびレースでコースを走行する場合は必ずヘルメットを着用してください。(ヘルメットは日本自転車競技連盟公認のものでなくても結構ですが、ご自身の責任で判断してください)

※ヘルメットは転倒時に外れないよう、アゴひもをしっかり固定してください。

※グローブなど安全装備の着用を強く推奨します。

場内アナウンス

大会運営上の変更点のお知らせや緊急の呼び出しなどは場内アナウンスを使用しますので、速やかな対応をお願いいたします。

インフォメーションボード

今大会インフォメーションボードは設置いたしません。レース結果はスマートフォンやタブレットなどから〈LAP CLIPウェブサイト〉でご確認ください。

授乳室

ピット裏のチームオフィス〈A-07〉に授乳室を設けています。赤ちゃんやお母さんの休憩にご利用ください。（P7参照）

トイレ

鈴鹿サーキットはピットビルやチームオフィスなどの施設にトイレはありますが、グランドスタンド側に比較的多くの人が利用できるトイレ施設があります。グランドスタンド側へは地下道を通って行けます。ただし、自転車の通行は禁止です。

喫煙場所

会場での喫煙は、所定の喫煙場所でしてください。ピット、パドックほか会場内での火気は厳禁です。

チームカー専用駐車場

パドックパーキングパスで入場したチームカーはA・B・C・Eパドックの指定の場所に駐車してください。

※テントやテーブル、機材などで駐車場を使用することは禁止です。

チームピット

チームのピットNo. は参加確認証に印字されています。各チームは指定されたチームピットを使用してください。(ピットエリアはテント、タープ禁止。火気厳禁)

接触や追突に注意

競技の性質上、コース上にスピードの異なる走者が同時にたくさん走ることになります。接触や追突などに十分注意し、お互いにマナーを守ることを心がけましょう。

走行中のマナー

他の選手の衣装や体には絶対触らないこと

選手はレース中に走行レーンを守って他の選手に迷惑をかけないようしてください。特に他の選手にむやみに接近したり、衣装や体に触れることは危険ですので絶対にしないでください。これらの行為で恐怖を感じたり、また転倒して大きな事故に至ることもあり得ます。みんなが気持ちよく走れるよう心がけましょう。

競技中の禁止事項

※大会主催者が認めた場合を除いて、営利を目的とした動画および写真撮影を禁止します。

小型無人飛行機等の禁止

サーキット施設内で許可なく小型無人飛行機等（ドローン・ラジコン等）の操縦・飛行等の行為を禁止します。

スポーツ傷害保険について

参加者全員を対象に傷害保険（通院日数×2,400円、入院日数×3,500円、死亡後遺障害300万円）に加入しています。この補償内容で不充分な方は、各自で別途加入してください。

なお、競技中に起きた事故については、たとえ軽傷であっても、必ずその日のうちに救護所に申告してください。当日連絡できなかった場合は、2日以内に代理店へ連絡してください。連絡がない場合は保険金が支払われません。

●スポーツ傷害保険 代理店　有限会社 蔵屋商産
〒292-0052 千葉県木更津市祇園 1-26-16-103
担当：鳥海 隆　　携帯番号：090-1116-5524

貴重品の管理

大会開催中、参加者自身の自転車および貴重品等は、各自の責任において管理してください。

お問い合わせ先

大会に関するお問い合わせは選手受付にて対応いたします。

ピットエリアについて

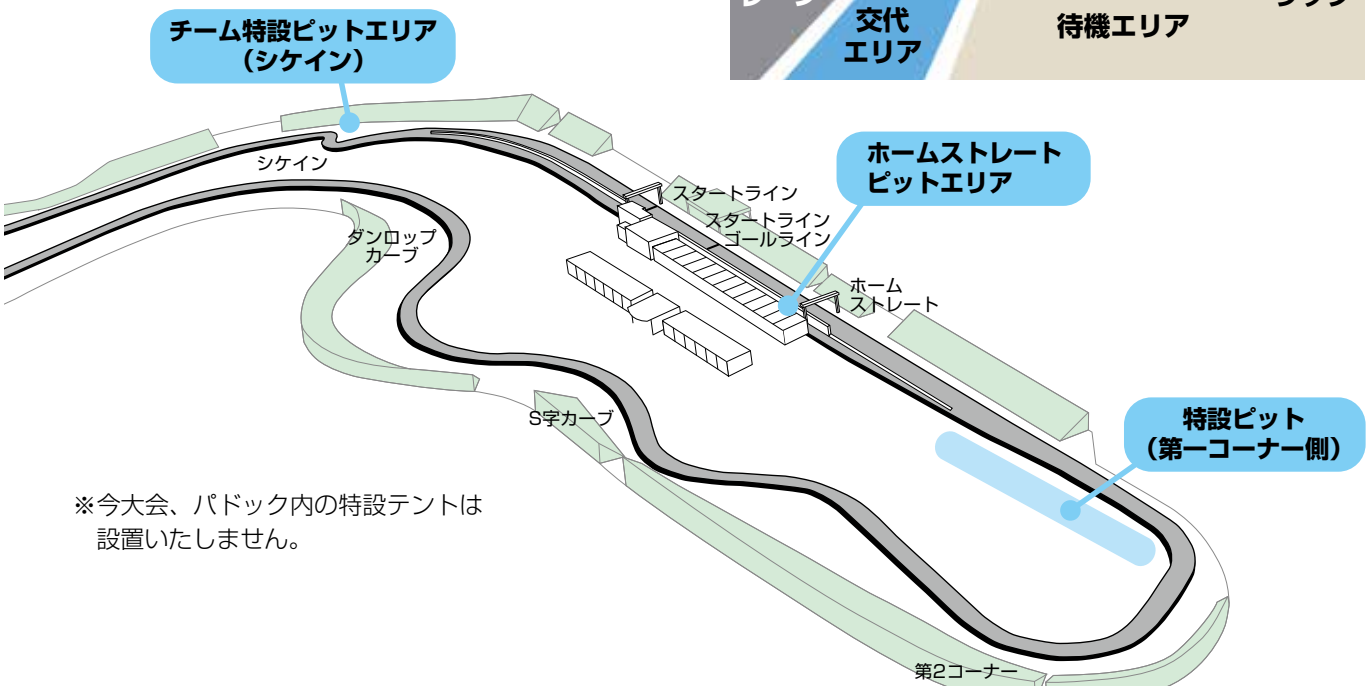
特設ピットエリア

シケイン付近のコースサイドと第1コーナー側のコースサイドに特設チームピットエリアを設けます。テントなどを持参してチームピットとして使用できます。コースサイドのピットエリアなのでスムーズな選手交代が可能です。

特設ピットエリアは係員の指示に従って主催者が定めた区域を使用してください。

特設ピットエリアの使用時間はピットオープン～PM6:00までです。この時間外に残されているテント、備品などはすべて撤去いたします。

▼ホームストレートピットエリアの配置



※今大会、パドック内の特設テントは設置いたしません。

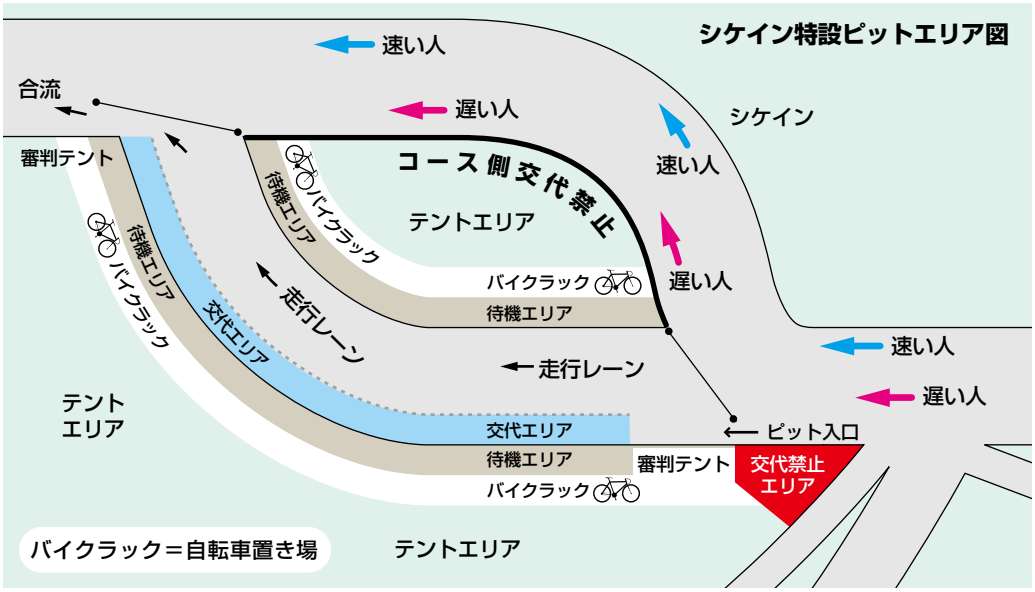
チーム特設ピットエリア（シケイン）

シケインに設けられた特設ピットエリアの入り口と出口には審判テントを設置し、公正なレース運営にあたります。このピットエリアは、本大会が特別に定めたピットエリアです。このためピットへの入り方や出口から本コースへの合流など、注意が必要です。また、参加選手は走行レーンや待機エリア、バイクラックエリア、テントエリアなどの区域を十分認識していただき、お互い協力して安全で楽しいレースに心がけてください。

※シケイン特設ピット内にバイクラックを設置します。

※シケイン特設ピット付近にテントを張る場合は必ずバイクラックの後方に設置してください。

※強風などで飛ばされないようにテントの設営はしっかり固定してください。また、手荷物などがコース内に入らないようしっかり管理してください。



サイクリストの心得&マナー

レースはルールによって成り立っている競い合いです。一番大切なのは、他のサイクリスト（仲間）を危険な状態にしないという思いやりの気持ちです。安全走行で楽しいレースにしましょう。

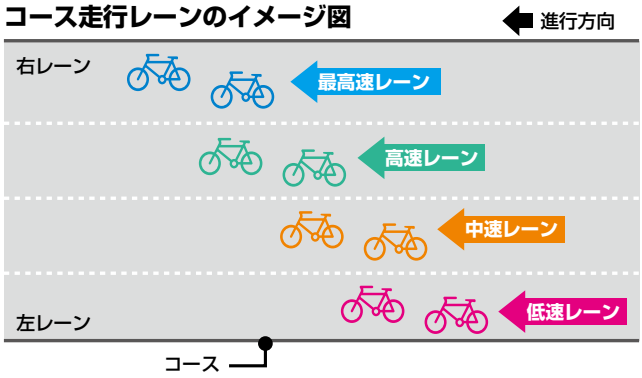
安全にレースを走る為の心得

スズカ8時間エンデューロでは、速度差のある選手が同じコースを混走します。その状況で走行中の安全を確保するためには、参加選手である皆様の協力が必要です。

1. 走行レーンの維持

鈴鹿サーキットコースを反時計回りで競技を行います。ゆっくり走る方はコース左側のレーンを、前走者を追い越す場合は右側のレーンから追い越します。追い越した後しばらく右側のレーン走行を維持します。サーキットには普通道路のように車線を区切るラインはありませんが、4本のラインで仕切られた走行レーンを走るイメージで走ってください。（下図参照）

コース走行レーンのイメージ図



2. 視野を広く確保する

前の選手だけを見るのではなく、目線を上げて100m先を見るつもりで前方の動きを把握して走行しましょう。

3. 急な進路変更は厳禁

レース中は集団で走行しているので、自分の前後左右には他の選手が走行しています。進路変更やピットへ入る時は手で合図をするなど、注意を促して、安全を確認してから進路変更しましょう。

4. 声出しをしよう

追い越しを行う時は「右、通ります」、ピットへ入る時は「ピットへ入ります」と一声掛けると、周りにいる選手もその動きに対して構える事ができるので、選手同士の接触を防止する事につながります。

5. よそ見をしない

視線は常に前を向けて走ろう。コース脇からの声援に視線を向けたり、苦しくなって下を向いて走らないように注意しましょう。前方を見ていないうちに、自転車は意外に前へ進んでいます。

※スタート時は沢山の選手に囲まれてスタートしますので、特にこの5つを厳守しましょう。

※ピットエリアでは徐行・横断注意。

サイクリストとしてのマナー

自分が怪我をしないように、また他の選手を事故に巻き込まないためにも以下の2つを守って下さい。

スタート前のチェック

- 自転車の安全点検
- ヘルメットのチェック：損傷がないかチェックして、アゴ紐を締めて正しく被ります。浅く被ったり、深く被りすぎても万が一の時にヘルメットの性能が発揮されません。（注意）ヘルメットは経年劣化します。購入後3年間が保護性能有効期間です。
- 服装のチェック：靴紐やズボンの裾などがギアなどに絡み付くと危険です。できるだけ体にフィットする服装で走行しましょう。
- 計測チップ:計測チップは正しく装着しましょう。間違った向きや場所に装着すると正確な記録が計測できない恐れがあります。

走行中にトラブルが発生したら

1. パンク

- 手を上げたり、「パンク」と声をだして周囲の選手にパンクした事を伝えます。
- 急停車するのではなくゆっくりと減速し、後方から来る選手に注意を払いながらコース左端へ退避し、コースから出て停車します。（急停車・急な進路変更は後ろからの追突事故につながります）
- コース脇を自力でピットまで戻ってください。無理な場合は近くの大会スタッフに現状を伝えてください。

2. 転倒した場合

- 転倒時は、体を出来るだけ小さくして最後までハンドルから手を離さないようにしましょう（手を離して手から着地すると鎖骨が折れることがあります）。動ける場合は周囲の安全を確認してコース脇へ移動します。無理な場合は体を丸めて小さくなり、スタッフの到着を待ちます。直ぐにスタッフが駆けつけます。

コース紹介

左側（アウトコース）をゆっくり走っている選手は、心理的にコースの中央寄りを走りたくなります。しかし、右後方から速い選手が次々と来ますのでキープレフトを維持してください。

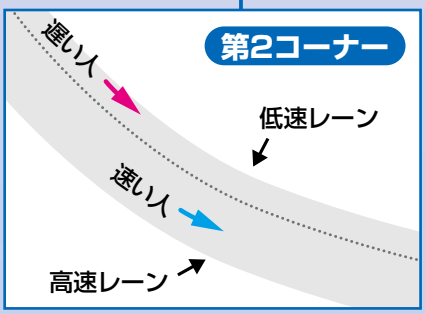
緩やかに下りながら急カーブしている文字通りヘアピンカーブです。左側（アウトコース）をゆっくり走っている選手は、心理的にコースの中央寄りを走りたくなります。しかし、右後方から速い選手が次々と来ますのでキープレフトを維持してください。

アルファベットの「Z」形の様に鋭角に曲がりくねったコーナーになっています。アウト・イン・アウトのラインで走ろうとすると、並走している選手と接触します。必ず自分が走っているレーンを維持して走りましょう。

緩やかに下っている直線なので単独で走っていると危険を感じない場所ですが、ストレートの後半は上り坂になっています。集団で走っていると、自然渋滞の様に前方の選手が一気に減速しますので、追突に注意しましょう。また、ギア変速によってチェーンが外れて失速する選手や、止まっている選手もいます。目線を遠くして、前方の動きに注意しましょう。

25Rは直角に近い急カーブです。ヘアピンからデグナーへずっと下りが続いているのでスピードコントロールしてください。右側から追い越す選手は、左側を走行している選手の走行レーンを塞がない様に注意しましょう。

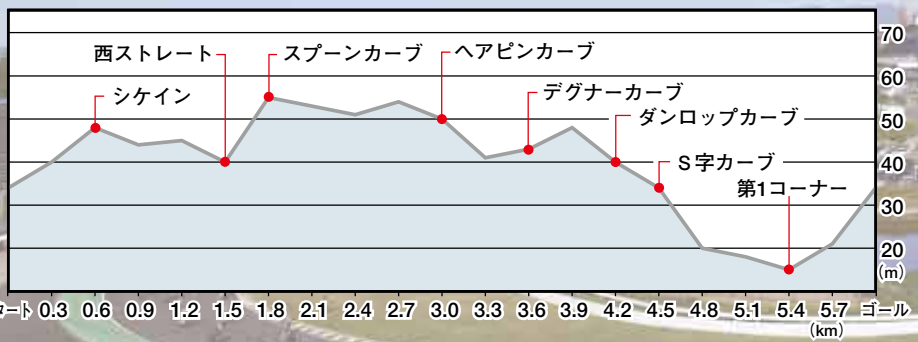
ダンロップカーブからS字カーブ、第2コーナーへと連続して下りのカーブが続きます。自分の技量を自覚してコントロールできるスピードを維持しましょう。左側（アウトコース）をゆっくり走っている選手は、心理的にコースの中央寄りを走りたくなります。しかし、右後方から速い選手が次々と来ますのでキープレフトを維持してください。



第2コーナーコース規制区間

第2コーナーはコース規制区間です。インコースはゆっくり走る低速レーン、アウトコースが速い人用の高速レーンに区分しています。

鈴鹿サーキットコース高低差図〔フルコース＝1周 5.807km〕



競技者の装備と車両規定について

競技者の装備

1）全ての競技者は落車時に頭部を保護する為に、ヘルメットのアゴひもをしっかりと締めた着用を義務付けます。使用ヘルメットが、使用上安全であると認められるものはJCF（日車連）公認の物でなくても使用を認めます。（但し、硬質外殻を持つヘルメットに限る。

2）全ての競技者は、主催者から用意されたゼッケン及び計測タグを指定の位置に取り付けることを義務付けます。

※衣装および車輌の装飾については、極端な突起物および走行上著しく操作を妨げる形状の装飾物を取り付けることは認めません。
仮装衣装は、ノースリーブや極端な露出の衣装を着用することを禁止します。
着用する衣装の丈の長さは、車輪巻き込み防止のため膝頭より上とし、走行時に本人を含む、周りの方へ危険を与えない事。

車両規定

レースに使用できる自転車については下記の車両規定をご覧ください。

1.参加者が使用できる自転車は、フリー式とし、前後ブレーキは完全なものとします。

2.使用する自転車はサーキットでの高速走行に耐える強度を備え、よく整備された自転車である事を義務付けます。

3.全カテゴリーでディスクブレーキの使用を認めます。

4.トライアスロンバー、DHバー、アタッチメントバー、ブルホーンバーの使用は認められません。

5.フラットハンドルバーのエンドバーは認めますが、エンドバーを本来の目的以外に使用する事を禁止します。また、フラットバー以外でも付属品の使用方法が本来の目的以外の使い方である、または、車両既定の禁止事項に類似すると判断された場合は、審判長の判断により走行禁止や規制を加えられる場合があります。

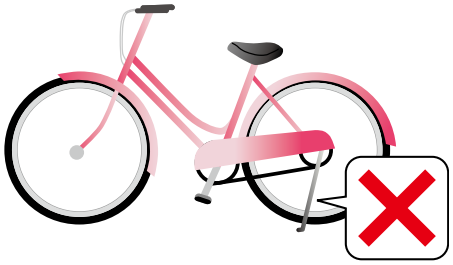
6.ディスクホイールはパフォーマンス目的での利用に限り使用可能とします。集団走行での使用は認められません。

7.バトンホイール・スピナジーの使用は認められません。

8.1本足スタンドは必ず外して走行してください。

9.電動アシスト付自転車、タンデム車は出場できません。

※自転車について詳細は大会事務局までお問い合わせください。



●ロード

通常ロードレーサーと呼ばれる車種全般とします。このカテゴリーへのクロスバイク、MTBでの参加もOKです。その場合タイヤサイズの規制及びフラットハンドルバー使用の規制はありません。

●フラットバー

クロスバイク、MTBなどフラットハンドル付の自転車。車輪径とタイヤの太さの制限はありません。エンドバーの使用は認めますが、緊急時のブレーキ操作が可能なブレーキレバーを装着した自転車のみとします。スリックタイヤの使用は可能です。

●ママチャリ

前カゴ付きの一般車で、通学用及び買い物用などに使用される市販の自転車。

●ミニ（小径車）

前後の車輪径が22インチ以下のスポーツ車であれば基本的に車種の限定はありません。変速機の制限は設けません。ただし、高速走行に耐えうる十分な強度を備えた自転車であること。

●リカンベント

リクライニングポジションで乗車する、リカンベントタイプの自転車です。カウリング付きも認めますが、単独で乗り降りが可能な形状のみとします。（目印となるフラッグの装着を強くお勧めします）

競技規則・競技方法

競技規則

1）本大会は（公財）日本自転車競技連盟の規則に準じ、本大会の特別規則によって実施します。

2）競技規則および競技運営・管理上の規定を厳守してください。

3）競技は、計測タグ使用による自動計測システムにて実施します。もし計測タグを装着せずに競技に参加した場合、成績が表示されませんのでご注意ください。

4）車検は行いませんので、各自責任を持って常に完全に整備された自転車を用いて参加してください。

5）スタート地点への移動途中やローリングスタート走行中の無理な追い越しや割り込み等、危険行為、迷惑行為を禁止します。

6）エンデューロのスタートはバイクの先導により誘導します。バイクからの合図でスタートする「ローリングスタート」で競技を開始します。

7）全ての競技においてスタート時間に遅れた競技者およびチームは、遅れた時間分をロスタイムとして計測します。

8）コースで他の参加者を追い抜く場合、原則的に右側から追い抜くものとします。

9）ピットレーン走行中は原則として他の競技者を追い抜く事を禁止します。

10）コース走行中､自分の走行ラインを斜めに変更する場合、必ず変更する側の後方確認を行い安全であるか確認することを義務付けます。

11）競技中および試走時間中にコースを逆走することは安全管理上一切禁止します。

12）競技者は、ボトル、スペアータイヤ、修理用具等を携帯できますが、ガラス容器その他危険物を携帯してはいけません。なお、携帯したものをコース上およびその周辺に破棄する事を禁止します。

13）競技中、完走打ち切りは原則として実施しませんが、審判委員および医務員から競技の中止を指示された競技者は、直ちに競技を中止してください。

14）競技は参加申込にてエントリーした選手のみが出場できます。なお事前に大会本部（選手受付窓口）に、参加者変更の連絡を申し出ている場合は、代理人の出走を認めます。

15）競技参加者は競技役員の指示に従ってください。

16）大会開催中、参加者自身の自転車および貴重品等は、各自の責任において管理してください。

17）飲酒による出走を禁止します。

18）危険行為､迷惑行為､規則違反､マナーや風紀を乱すなど、競技者として不適当な行いがあった者（チームやグループ）には警告と周回数減などのペナルティーを与えます。悪質な行為や警告が度重なる場合はレースから除外します。

19）携行した飲食料の飲食はコース走行中も可能ですが、飲食料を補給する場合はピットエリア内で必ず停車して行ってください。第三者からの補給を受ける場合もピットエリア内で停止して行ってください。

20）同一チームで複数名が同時に走行することを禁止します。アンクルバンド（チーム用計測タグ）を装着していない選手は走行出来ません。

※試走は省く

エンデューロ 競技方法

1）競技は定められたコースの周回を重ねそれぞれ所定時間を経過した後競技を終了し、走行した周回数およびゴール着順により順位を決定します。チーム参加の場合はアンクルバンド（チーム用計測タグ）を次走者に繋ぐリレー形式で走行します。

2）スタート時は先着順に整列し、オートバイの先導によるローリングスタートで競技を開始します。

3）カテゴリーは種目によりソロおよびチーム対抗とし、6時間・4時間・3時間の耐久レースを実施します。それぞれ総合順位賞を設けています。（詳細は表彰についてを参照）

4）チーム構成は6時間エンデューロ1 ～ 4名、4時間・3時間エンデューロ1 ～ 3名、男女混合2 ～ 3名、ファミリーは3 ～ 4名とします。使用する自転車は同一チーム内であれば共有する事が出来ます。

5）競技中の選手交代は、あらかじめ定められた各チームピット前のピットレーンにてチーム用計測タグの交換により行います。選手交代のタイミングは同一チーム内で自由に行え、チーム用計測タグを装着した選手のみ走行できます。

6）ピットレーンの出入口を下記の時間帯に一時的に閉鎖します。エンデューロに出場されている選手はその間、交代できませんのでご注意ください。

〈ピットロード閉鎖時間　各競技終了5分前～ 25分間 〉

7）規定時間を過ぎてゴールラインを通過し、レースを終了した選手はシケイン手前からピットロードから退出して、速やかに計測タグを返却した後、各チームピットへ戻ってください。

公式記録

1）競技記録は以下の手順にて公式記録となります。

2）レース終了後、直ちに通告員より入賞対象選手またはチームを場内（ピットエリア）アナウンスします。同時にウェブサイトにて全てのレース結果を掲示します。

3）通告、掲示後10分経って意義申し立ての無い場合、競技結果は公式記録として確定します。

表彰について

表彰式は対象者のみでの実施を予定しております。

表彰式対象者・関係者の方はマスクを着用し表彰会場までお越しください。レース結果はスマートフォンやタブレットなどからLAP CLIPウェブサイト〈https://matrix-sports.jp/lap/〉でご確認ください。インフォメーションボードは設置いたしません。

※参加者（チーム）が10組に満たない場合は入賞対象を3位までとします。
※上位入賞者への表彰状や各副賞は当日会場でお渡しします。
　後日事務局から発送することはありませんので必ず当日お受け取りください。

総合順位賞

6時間、4時間、3時間エンデューロにはそれぞれ総合順位賞を設けます。それぞれの総合順位の1位には、その栄誉をたたえチャンピオンジャージを贈呈いたします。
6時間、4時間、3時間エンデューロそれぞれ総合順位賞1位～3位のチームに賞金を贈呈します。

2021
チャンピオン
ジャージ

カテゴリー別順位賞

ロードソロは上位3位まで、チームエンデューロの各カテゴリー上位6位までに賞状と副賞を授与いたします。

年代別表彰

ロードソロは別途年代別1位のみ賞状と副賞を授与いたします。（29歳以下、30代、40代、50代、60歳以上）
※ソロ、総合入賞以外が対象です。女性カテゴリーは対象外です。

表彰式

各カテゴリーの1位、2位、3位の選手は表彰ステージにおいて表彰式を行います。表彰対象選手は表彰ステージ前にお集まりください。

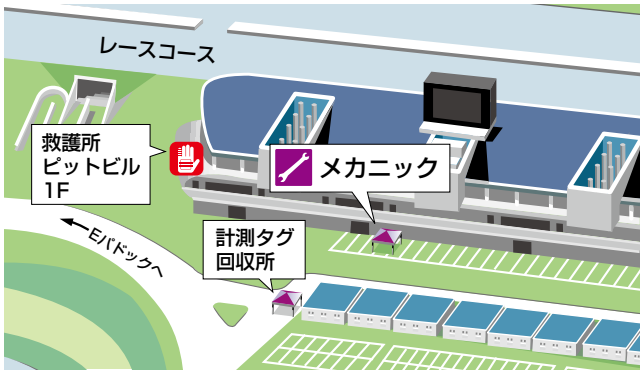
種目/カテゴリー			表彰状/副賞	賞金	チャンピオンジャージ
6時間エンデューロ	総合順位賞		1～3位	○	○
	ロード / ソロ		1～3位(総合と重複あり)	-	-
	ロード / ソロ	29歳以下	1位(ロード / ソロ1～3位以外)	-	-
		30代	1位(ロード / ソロ1～3位以外)	-	-
		40代	1位(ロード / ソロ1～3位以外)	-	-
		50代	1位(ロード / ソロ1～3位以外)	-	-
		60歳以上	1位(ロード / ソロ1～3位以外)	-	-
	ロード /チ ーム		1～6位	-	-
	男女混合		1～6位	-	-
4時間エンデューロ	総合順位賞		1～3位	○	○
	ロード / ソロ		1～3位(総合と重複あり)	-	-
	ロード / ソロ	29歳以下	1位(ロード / ソロ1～3位以外)	-	-
		30代	1位(ロード / ソロ1～3位以外)	-	-
		40代	1位(ロード / ソロ1～3位以外)	-	-
		50代	1位(ロード / ソロ1～3位以外)	-	-
		60歳以上	1位(ロード / ソロ1～3位以外)	-	-
	ロード / チーム		1～6位	-	-
	男女混合		1～6位	-	-
3時間エンデューロ	総合順位賞		1～3位	○	○
	ロード /ソロ		1～3位(総合と重複あり)	-	-
	ロード / ソロ	29歳以下	1位(ロード / ソロ1～3位以外)	-	-
		30代	1位(ロード / ソロ1～3位以外)	-	-
		40代	1位(ロード / ソロ1～3位以外)	-	-
		50代	1位(ロード / ソロ1～3位以外)	-	-
		60歳以上	1位(ロード / ソロ1～3位以外)	-	-
	ロード / チーム		1～6位	-	-
	WOMEN / ソロ		1～6位	-	-
	男女混合		1～6位	-	-
	ファミリー		1～6位	-	-

※今大会、パフォーマンス賞は実施いたしません。ご了承ください。

メカニックサポート

移動中や会場で突然起こった
緊急トラブルに対処する頼もしい味方

レースを楽しむには、大会の車両規定を満たすしっかり整備されたバイクで走ることが重要です。レースに来る前にショップや各自で自転車の点検・整備を行うことで会場でのトラブルはかなり防ぐことができますが、不運にも会場への移動中や現地で思わぬトラブルに見舞われてしまうことも。そんな突然のトラブルに対応してくれる頼もしい味方がメカニックサポートです。プロのメカニックが最低限の応急処置を行ってくれます。レースに出るのをあきらめたり、トラブルを放置して出走して重大な事故につながる前に、まずはメカニックサポートに相談してみてください。



※部品交換を必要とするような大がかりな修理には対応できない場合があります。また、簡単な部品交換で対応できる場合は部品代のみ有償となります。交換部品や対応する工具がない場合もあります。あらかじめご了承ください。

※メカニックサービスはレースに出走するための緊急対応のみとなりますので、整備不良車やレース出走後のトラブル対応や調整・整備はお断りさせていただいております。

※メカニックサポートでの応急処置は一時的なものです。レース終了後に必ず専門店で修理や整備を受けてください。

レース経過速報

無料で好きなときにラップタイムや順位をチェックできる！
ラップ一覧チェックサイト「LAP CLIP」

サービスのご利用は下記URLまたはQRコードでアクセス！

https://matrix-sports.jp/lap/（PC・スマホ対応）

スマートフォンやタブレットなどのお手持ちのモバイル端末で、カテゴリー別にチームや選手の順位やラップタイムの速報がいつでも無料で確認できるサービス「LAP CLIP」。無料のサービスながら提供されるデータも充実していて、各周回のラップタイムが1000分の1秒まで詳細に表示される一覧表形式、周回ごとの推移がビジュアル化されてわかりやすいグラフ形式の表示が選べます。ラップタイムや周回数などのデータは、選手たちがコントロールライン通過後にほぼリアルタイムで更新されるので、常に最新の情報を確認できます。チームのメンバー交代のタイミングを図ったり、ライバルチームの動向を確認したりするなど、レースの戦略を練るのに役立ちます。

※速報データのため、順位・タイムは後から修正される可能性があります。

22回大会の様子をレポート

下記URLまたはQRコードでアクセス！

https://suzuka8h.powertag.jp/

大会の魅力をたっぷり伝えるwebレポートを大会終了後にアップします（11月下旬予定）。レースレポートや大会の裏話、チーム紹介、優勝者のプロフィール、イベントでのエピソードといった読み物を満載した楽しいレポートです。感動のゴールシーン、サポーターの皆さんの表情を撮った写真もたっぷり掲載します。大会の思い出をwebで追体験してください。

パワータグとゼッケンの取り扱い

自動計測「パワータグ」は個人用のフロントホーク固定式計測タグとチームリレー用のアンクルバンド式 計測タグがあります。個人用はソロの参加選手、チーム用は1チームに1個お渡しします。

フロントホーク固定式計測タグ（ソロ用）

ソロの参加選手全員に個人用計測タグセット（固定式計測タグ、タイラップ2本 / 写真①）をお渡ししています。使用する自転車に装着してください。固定式計測タグに貼られているご自分のお名前を確認してから、フロントホークの図②の位置に固定してください。

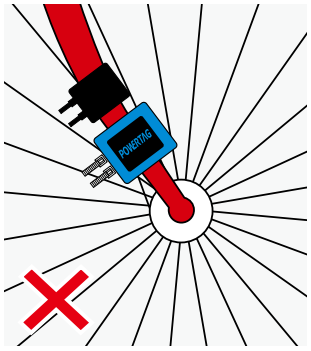
※ソロの参加選手には個人用固定式計測タグのみお渡ししています。（アンクルバンド式計測タグはありません）

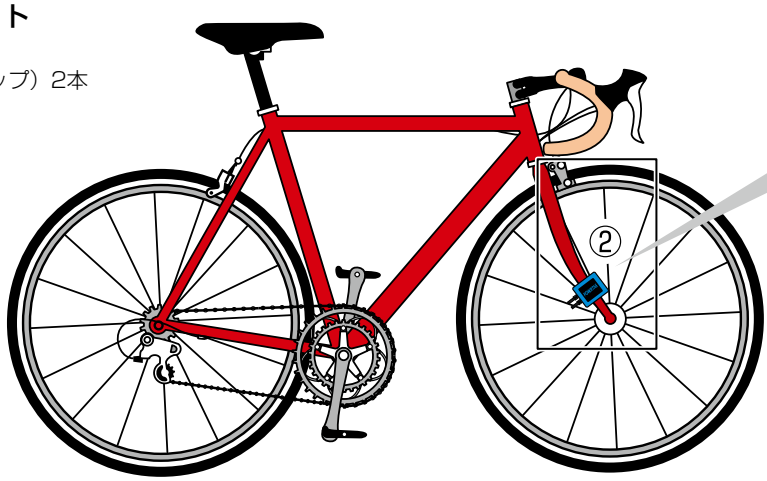
① パワータグセット

・パワータグ１コ
・結束用具（タイラップ）2本

ご注意

計測タグ「パワータグ」はサイクルコンピュータのセンサーを装着しているホークの反対側に取り付けてください。センサーと計測タグを近くに取り付けると、どちらも作動しなくなる場合があります。





アンクルバンド式　計測タグ（チーム用）

エンデューロの記録計測に使用する計測チップはアンクルバンドタイプです。ライダーの足首に巻きつけて使用しますので下記の注意事項をよく読んで取り扱ってください。

取り扱いの注意事項

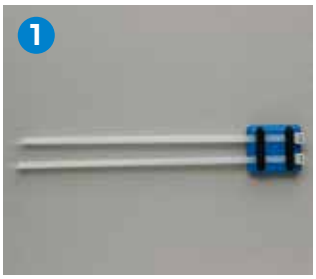
1）アンクルバンドタイプの計測チップは足首に巻きつけて走行します。審判員から視認できるように露出して装着してください。（左右どちらでも可）
※手首に巻いたりポケットなどには入れないでください。計測されない場合があります。

2）計測チップの受け渡しは必ず停止して行うこと。走りながらの取り外しや装着、受け渡しは厳禁です。

3）計測チップは精密機器です。ライダー交代の際に投げたりしないでください。落下して記録が計測できなくなることがあります。

※アンクルバンドは黒い面を外側（黄色面を内側）に足首に巻きつけてください。走行中に外れないようしっかり固定してください。

フロントホーク固定式 計測タグ　取り付け方・取り外し方



パワータグ裏面にあるゲタ状台座の穴に写真のようにタイラップを通します。

フロントホークに装着し、タイラップの細い先端を穴に通して強く引きます。

しっかり固定するまでタイラップを引き、タグがずれたり動いたりしないか確認します。

固定したら余分なタイラップを切り取ってください。

取り付け完了です。

取り外し方

取り外す時は、タイラップをニッパなどで切って外してください。フロントホークを傷つけないよう注意してください。

計測タグの返却

レース終了後、自動計測器「パワータグ」は計測タグ回収所へ全て返却していただきます。

●個人用計測タグは固定したタイラップを切って返却してください。
●アンクルバンド式計測タグはそのまま返却してください。

※自動計測器「パワータグ」は個人登録されていますので、返却されなかった場合は大会事務局より製作実費5,000円（個人用計測タグ）あるいは7,000円（アンクルバンド式計測タグ）を請求させていただきます。

ゼッケンの取付け位置

ゼッケンは走行中に外れないように各自でしっかり取り付けてください。ゼッケンが外れてしまったまま競技を続行することはできませんので注意してください。

※ゼッケンは写真を参考に、ジャージ（上着）の背中左側の位置につけてください。この時、背骨のラインにゼッケンの上端が沿うように取り付けてください。

イベントのご案内

サイクルバザール

時間 8:00 ～ 15:30（予定） 場所 ピットビルとチームオフィスの間にて

2022年最新モデルや話題の製品をチェック！
試乗・試着、買い物まで楽しめる！

協賛各社のテントが並ぶサイクルバザールは、エンデューロの祭典・スズカ8時間エンデューロを象徴する人気イベント。各社が取り扱う様々なブランドの完成車は、この時期だからこそ出品できる2022年最新モデルもあります。また、バイクやホイール、ヘルメットやアイウェアなどは試乗したり、試着したりできるものもあります（予定）。待ち時間もほとんどないので、いろいろお試ししたい方にはかなり狙い目です！　タイヤやチューブ、ウェアなどを会場特別価格で販売するブースもあり（予定）、ショッピングだって楽しめます！
話題の製品を見て、試して、買い物も楽しめるサイクルバザール。出展情報は順次大会WEBにアップされるので、こまめにチェックしてください！

ロードレース講習会

講師 マトリックス・パワータグ

安全にレースを楽しむ心得を
マトリックスパワータグの選手から学ぼう

レースを楽しい思い出にするには、ケガなく無事にゴールすることが必須。とはいえ、スズカ8時間エンデューロは、誰でも参加しやすいだけにレース初心者も多く参加しています。初心者の多くは集団走行に慣れておらず、不安を感じながら走っている人も少なくありません。そこで、本大会では、主に初心者を対象にしたロードレース講習会を開き、安全走行や集団走行のコツを学んでいただいています。
講師は、Jプロツアーで活躍する本大会のホストチーム、マトリックス・パワータグの選手たち。講習会では、まず講義で安全走行のために必要なバイクの走行前点検の方法や、集団走行のポイント、鈴鹿サーキットの安全な走り方などを説明します。続いて、選手たちの先導で実際にコースを試走し、講義で得た知識を実際に走りながら体感していただきます。レース初心者はもちろん、集団走行のスキルを高めたいというレース経験者の参加も大歓迎です！

※自転車・ヘルメット・グローブなどコースを走れる準備をしてお越しください。

時間 8:35 ～（開始5分前までに集合） 場所 ピットNo.48のピットロード側

スポーツサングラスフィッティングサービス

スポーツサングラスフィッティングコーナーも開設
南船場スポーツグラスサロン眼'z〈 https://eglasses.wixsite.com/mysite 〉

風圧や紫外線の中で楽しむサイクルスポーツでアイウェアは単なるファッションアイテムではなく、目を保護する大切なもの。スポーツサングラスフィッティングコーナーでは、正しく装着できるよう、顔の形に合わせてテンプルやノーズパッドを無料で調整してくれます。
フィッターを務めるのは「南船場スポーツグラスサロン 眼’z」のスポーツサングラストレーナー&アドバイザー井上好広さん。いろいろと話をしながら今の着け心地のストレスをなくし、本来の機能を引き出してくれます。最後はきれいに洗浄し、装着してみれば着け心地が劇的に変化。抜群の技術から毎年、このコーナーに訪れるリピーターも多数いらっしゃいます。
「最近は欧米のサングラスをセレクトする方も多いため、よりフィッティングが必要になってきています」と井上さん。思い当たる方、ご自身のスポーツグラスが気になる方はぜひ試してみてくださいね。

※一部フィッティングできないグラスもございます。

時間 9:00 ～ 15:30（予定）

場所 メカニックサービス横にて開設

MC紹介

この日をどれだけ待ち望んでいたことでしょう！
皆さん目いっぱい楽しみましょう！

1年お休みした後の今大会。放送席からの実況中継だけでなく、バザール会場のブースからそして出番の準備に余念のない選手から、レポートや雑感を交えて大いに大会を盛り上げてくれるのがMCシンジさんと絹代さんです。
お二人は今大会だけでなく自転車イベントのあらゆる会場で活躍されている人気MCです。
MCシンジさんは主に実況を担当、そして絹代さんは表彰をメインに会場内のあらゆるところからレポートをお届けしてくれることになっています。もちろんお二人の丁々発止の掛け合いが見ものです。
2019年の20回大会を経て2021年22回大会もお二人の名調子で楽しい一日となることでしょう！

MCシンジさん

絹代さん

ホストチーム紹介

マトリックスパワータグプロフェッショナルサイクリングチーム〈https://team-matrix.jp/〉

2021Jプロツアー 個人総合＆チーム総合優勝達成！「新」たなシーズンとなった実り多い2021年

2020年に続きコロナ感染症の不安が拭えないまま、2021年も安定しないカレンダーに調整が難しいシーズンとなりました。そんな中で同一メンバーで迎えた今年、明るい変化への希望を込めて掲げた「新」の如く、それぞれのメンバーが個々に更に引き立ったシーズンと言えます。それは強い外国人選手とともに歩んできたチームのスタイルがいよいよ開花してきた結果にほかなりません。実に何年ぶり！という日本人選手の勝利など新鮮さを含んだ今季8勝はチームに新たな自信を持たせる実り多き実績をもたらしました。開幕から快進撃かと思われたJプロツアーでは逆境を共にする強豪達のレベルも向上し、後半はかなり苦戦を強いられ、勝利することも難しくなってくる中で、チームワークを強い意思で引き上げ、皆で勝ち取ったツアー総合勝利。切磋琢磨する良きライバルたちとのレベルアップが私たちのチーム力に磨きをかける結果となり、テーマ通り「新」な2021シーズンとなりました。

2021年 戦歴

全20戦

Jプロツアー全17戦
8勝

3月	Jプロツアー播磨中央公園クリテリウム Day-1	優勝	フランシスコ・マンセボ
		3位	ホセ・ビセンテ・トリビオ
3月	Jプロツアー播磨中央公園クリテリウム Day-2	2位	ホセ・ビセンテ・トリビオ
3月	Jプロツアー広島さくらロードレースDay-1	優勝	フランシスコ・マンセボ
3月	Jプロツアー広島さくらロードレースDay-2	優勝	ホセ・ビセンテ・トリビオ
5月	Jプロツアー群馬CSCロードレース　5月	2位	フランシスコ・マンセボ
5月	ツアー・オブ・ジャパン	第2ステージ優勝	ホセ・ビセンテ・トリビオ
		チーム総合優勝	
6月	Jプロツアー群馬CSCロードレース　6月	優勝	小林　海
7月	Jプロツアー西日本ロードクラシック広島	優勝	小森亮平
7月	Jプロツアー石川クリテリウム	優勝	吉田隼人
7月		2位	ホセ・ビセンテ・トリビオ
9月	Jプロツアー石川ロードレース	3位	ホセ・ビセンテ・トリビオ
	経済産業大臣旗ロードチャンピオンシップ	3位	小森亮平
9月	Jプロツアー南魚沼ロードレース	団体	2位
10月	Jプロツアー群馬CSCロードレース 9月 Day-1	2位	フランシスコ・マンセボ
10月	おおいた いこいの道クリテリウム	2位	吉田隼人
年間	おおいた アーバンクラシック	優勝	フランシスコ・マンセボ
年間	Jプロツアー 個人総合	優勝	ホセ・ビセンテ・トリビオ
	Jプロツアー チーム総合	優勝	マトリックスパワータグ

チームメンバー

フランシスコ マンセボ ペレス
Francisco MANCEBO PEREZ
生年月日　1973/3/9
身長・体重　175cm・64kg

ホセ ビセンテ トリビオ アルコレア
Jose Vicente TORIBIO ALCOLEA
生年月日　1985/12/22
身長・体重　175cm・64kg

アイラン フェルナンデス カサソラ
Airan FERNANDEZ CASASOLA
生年月日　1988/10/30
身長・体重　177cm・64kg

ﾚｵﾈﾙ ｱﾚｸｻﾝﾀﾞｰ ｷﾝﾃﾛ ｱﾙﾃｱｰｶﾞ
Leonel Alexander QUINTERO ARTEAGA
生年月日　1997/3/13
身長・体重　180cm・66kg

小森 亮平
Ryohei KOMORI
生年月日　1988/9/26
身長・体重　180cm・68kg

吉田 隼人
Hayato YOSHIDA
生年月日　1989/5/19
身長・体重　174cm・65kg

安原 大貴
Daiki YASUHARA
生年月日　1991/8/12
身長・体重　174cm・62kg

小林 海
Marino KOBAYASHI
生年月日　1994/7/1
身長・体重　173cm・64kg

狩野 智也
Tomoya KANOU
生年月日　1973/7/14
身長・体重　173cm・62kg

橋本 凌甫
Ryosuke HASHIMOTO
生年月日　1992/3/8
身長・体重　167cm・76kg

永良 大誠
Daisei NAGARA
生年月日　1974/7/9
身長・体重　180cm・64kg

真鍋 和幸
Kazuyuki MANABE
生年月日　1970/2/16
身長・体重　170cm・67kg

瀧山 里玖（研修生）
Riku TAKIYAMA
生年月日　1998/10/15
身長・体重　177cm・58kg

安原 昌弘（HEAD COACH）
Masahiro YASUHARA
生年月日　1963/2/4
身長・体重　170・66kg